

市民参加による組織運営の事例

NPO法人 アーラクルーズ(可児市文化創造センター)

施設概要

■平成 14 年 7 月開館

大ホール（固定 1,019 席）／小ホール（固定 311 席）映像シアター（100 席程度）／美術ロフト／演劇ロフト／音楽ロフト／ギャラリー／インフォメーション／情報コーナー／レセプションルーム／ワークショップルーム（2 室）／創造スタッフ室／デジタルアート工房／演劇練習室／音楽練習室（3 室）／木工作業室など

概要

★平成 13 年 11 月設立、平成 16 年 11 月 NPO 法人化

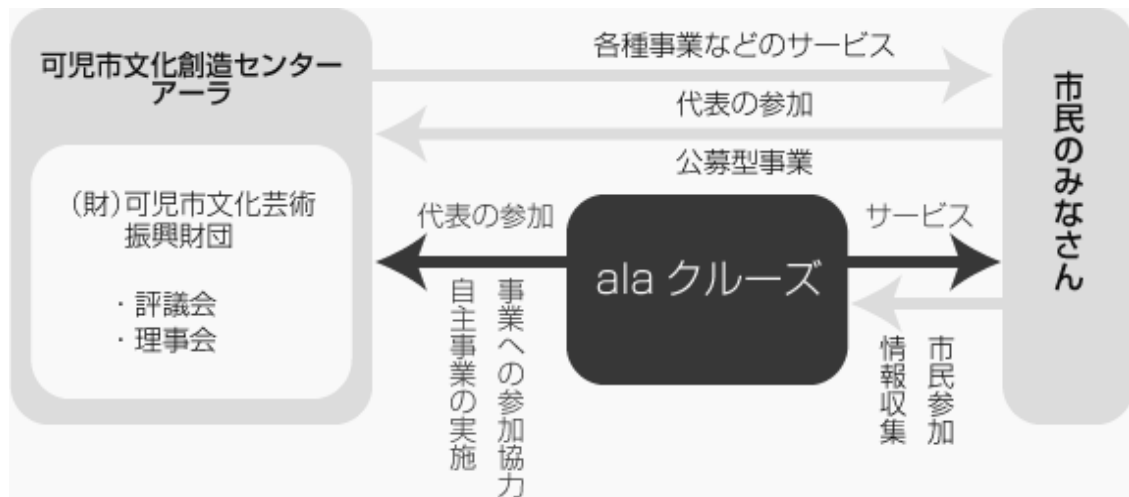
自主運営組織として各種事業を展開するとともに、可児市文化芸術振興財団が行う事業と連携し、市民の文化・芸術の創造と発展に寄与することを目的に下記の活動を行う。

- ・アーラで開催される財団事業などのサポート
- ・各種文化・芸術に関する事業の主催及び共催
- ・会員の知識や技術を向上させるための講座及び研修会の開催
- ・市民に開かれた会であるための各種情報の発信及び収集
- ・あらゆる市民が参加できる文化活動
- ・その他、目的を達成するために必要な活動

★正会員 57 名（平成 24 年 5 月現在）

活動内容

- 全体
 - ・文化ボランティア団体との交流やネットワークづくり
 - ・会員のための各種研修の実施や参加
 - ・ホームページによる情報の発信
- 創造・企画グループ
 - ・コンサート、展示などの企画や実施
 - ・映画上映など財団との共催事業
- 支援グループ
 - ・アーラで実施される事業のフロントスタッフ協力
 - ・市民団体などの事業への協力
- 広報グループ
 - ・alaクルーズ広報誌の発行
 - ・開催事業の撮影、記録など



文化の家フレンズ(長久手町文化の家)

施設概要

■平成 10 年 7 月開館

大ホール（固定 819 席）／小ホール（固定 302 席）／映像ホール（固定 103 席）
 展示室／美術室／音楽スタジオ／舞踊室／音楽室／生活工房／暗室／講義室（2 室）／会議室（3 室）／
 和室（2 室）ベビーズルームなど

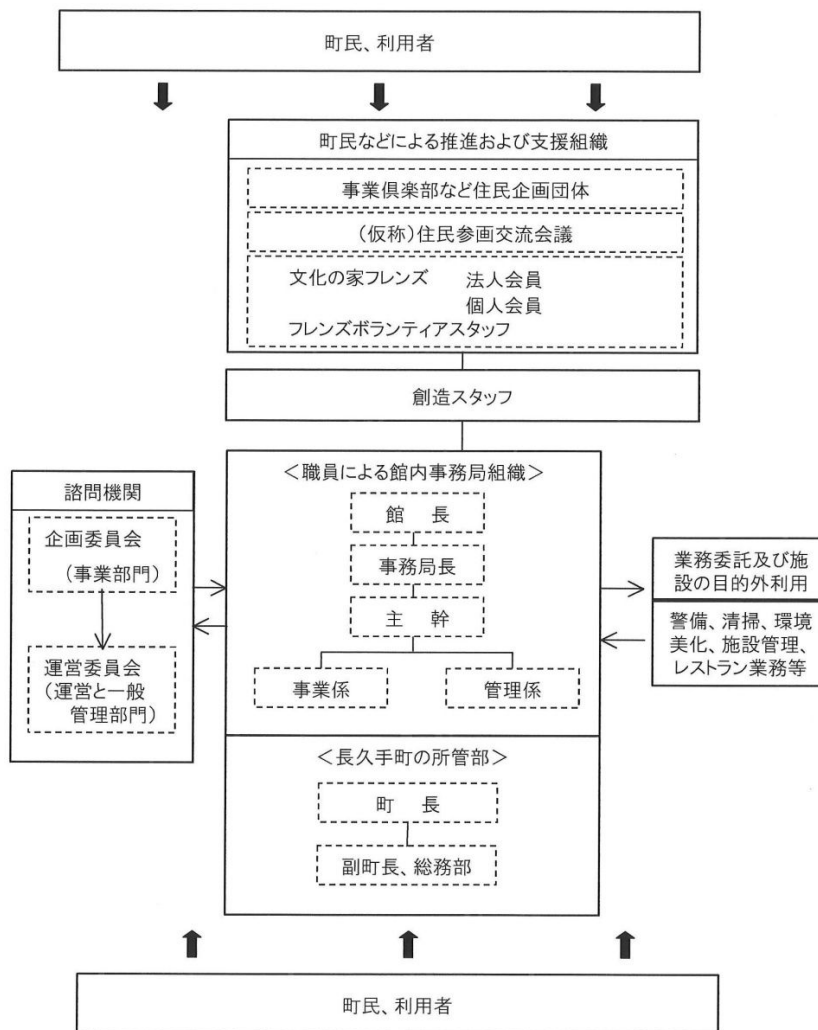
概要

★平成 7 年設立

長久手町文化の家をサポートするボランティアスタッフ。
 「文化の家がみんなに親しまれる場になること」「地域の文化に貢献すること」「文化の家を拠点に地域の
 の人たちとの交流を図ること」を目的に活動を行う。
 ★法人会員 1 団体、個人会員 536 名（平成 22 年現在）
 （設立時は法人会員 3 団体、個人会員 437 名（平成 10 年））

活動内容

- 文化の家自主公演時のフロント運営（チケットもぎり、パンフレット渡し、花束プレゼント、会場案内）
- 鑑賞・交流事業の企画運営（コンサート、クリスマスパーティーなど）
- 文化の家の公演情報・会員間の交流を掲載した機関紙、公演カレンダーの作成。）



コラーレ倶楽部(黒部市国際文化センター「コラーレ」)

施設概要

■平成7年11月開館

大ホール(固定886席) / マルチホール(移動208席)

リハーサル室 / 会議室(2室) / 和室(5室) / 創作室(2室) / 展示室(2室) / レストランなど

概要

★平成8年11月設立

■運営委員会…理事会に自主事業の各種イベント実施案や運営方針等を提案する。委員は、専門的な立場の委員とコラーレ倶楽部から選出された委員で構成される。

■アクティブグループ…コラーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的、積極的に活動するメンバーが集い会場案内や託児などボランティアサークルを立ち上げている。運営委員会に代表を送り、自分たちの意見を反映させることも可能。(運営委員会定員15名、任期2年。毎月1回会議)

○年会費：3,000円

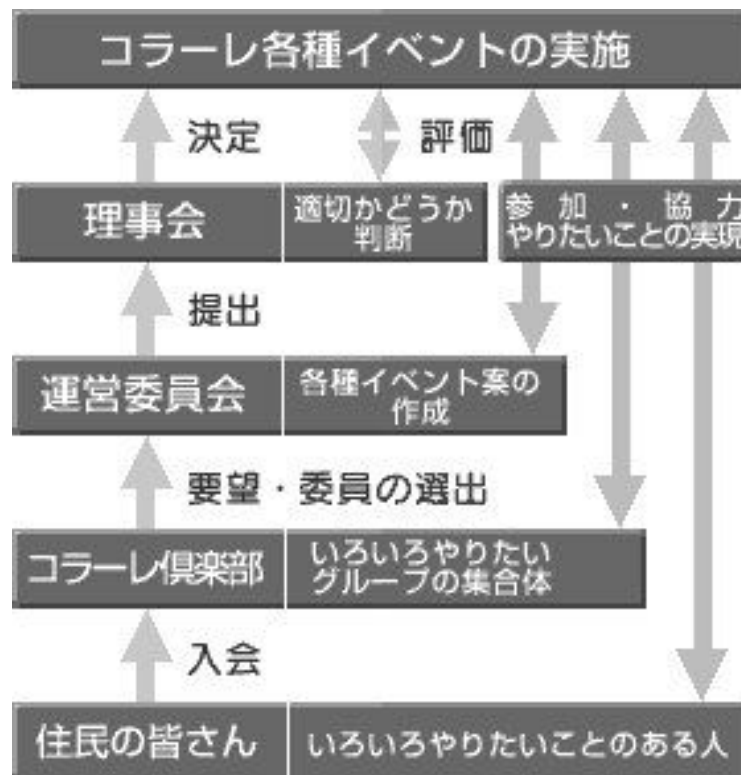
○特典：情報誌毎月送付、チケットの先行予約、主催イベントチケット10%割引、館内レストラン10%割引、施設使用料50%割引

★会員数：約700名

活動内容

アクティブグループサークル

- 会場案内ボランティア(座席案内)
- ステージ・サポーター(照明・音響等裏方サポート)
- 会場コーディネート(エントランスを生け花でデコレーション)
- 一時保育ボランティア(観劇時の一時保育)
- コラーレ倶楽部通信新聞部(機関誌「コラーレ倶楽部」の発行など12グループが活動)



NPO法人芸術工房(北上市文化交流センターさくらホール)

施設概要

■平成 15 年 11 月開館

大ホール (1,406 席) / 中ホール (最大 461 席) / 小ホール (最大 264 席)

アートファクトリー (ミュージックルーム 2 室、アンサンブルルーム 2 室、レッスンルーム 2 室、小アトリエ 2 室、大アトリエ、スタジオ、多目的室 2 室、会議室 2 室、和室 3 室、キッズルーム他)

概要

★平成 14 年 NPO 芸術工房結成、平成 15 年 6 月 NPO 法人芸術工房設立

「芸術サポーター倶楽部」

市民が自らアートマネジメントを進める場として設立。行政・芸術施設・アーティスト・青少年の間に立ち、市民のニーズを敏感に把握しながら、鑑賞だけでなく様々な事業の実施や協力、芸術活動の支援、芸術施設での来館者サービス等を行う市民活動組織。行政や芸術施設とパートナーシップを持ちながら、芸術の普及と活性化及び人材育成事業等を行うことにより、芸術文化の薫る心豊かな社会の実現を目指す。

★登録会員：123 人 (平成 21 年 7 月 31 日現在)

●レギュラー会員 (法人正会員) … 事業の推進を行う。総会や例会等の会議に出席し運営に関わる。(年間 6,000 円/30 名)

●アート会員 (法人準会員) … 事業を推進、鑑賞し支援する。(年間 3,000 円/21 名)

●フリーサポーター (法人外会員) … NPO と同じ目的で活動するため登録を行う。活動は共通 (登録料 500 円/72 名)

活動内容

●鑑賞促進 (公演の鑑賞を促進する事業)

●公演業務 (公演、ワークショップ、アウトリーチ等の運営業務。フロント、託児、技術裏方、チラシ折り込み、アンケート集計など)

●施設運営 (利用サービスや情報発信業務。広報誌の発送など)

●芸術文化 Link プロジェクト (芸術文化団体やアーティスト、企業、店舗等のイベント主催者がプロジェクトメンバーに登録し、ネットワークで情報共有しながら活動を活性化させる。情報収集、発信。イベントコーディネートなど)

他、芸術イルミネーションパーク整備、事務局運営業務、喫茶サービスなど。



金沢市民芸術村

施設概要

■平成8年8月開館

PIT1 マルチ工房／PIT2 ドラマ工房／PIT3 オープンスペース／PIT4 ミュージック工房（ステージ、練習スタジオ5室、ミキシングルーム）／PIT5 アート工房／里山の家（交流スペース）／パフォーマンススクエア／大和町広場／れんが亭（レストラン）

概要

旧紡績社倉庫群を、市が取得し文化・芸術活動の場として再利用した。公立文化施設で初めて「ディレクター制度」を導入。利用者を代表するディレクターとしての市民を委託し、自主運営の円滑化を図る「自主管理方式」をとっている。

★市民ボランティアによる総合ディレクター1名、サブディレクター1名、ディレクター8名（各工房2名）。専門分野のアドバイザー5名。その他の市民ボランティア100名超。年中無休24時間営業。金沢職人大学校併設。

活動内容

市民芸術村の管理運営、芸術村全体利用の活性化、利用団体間の調整、各工房の調整、施設利用の活性化戦略、工房自主事業の企画など。

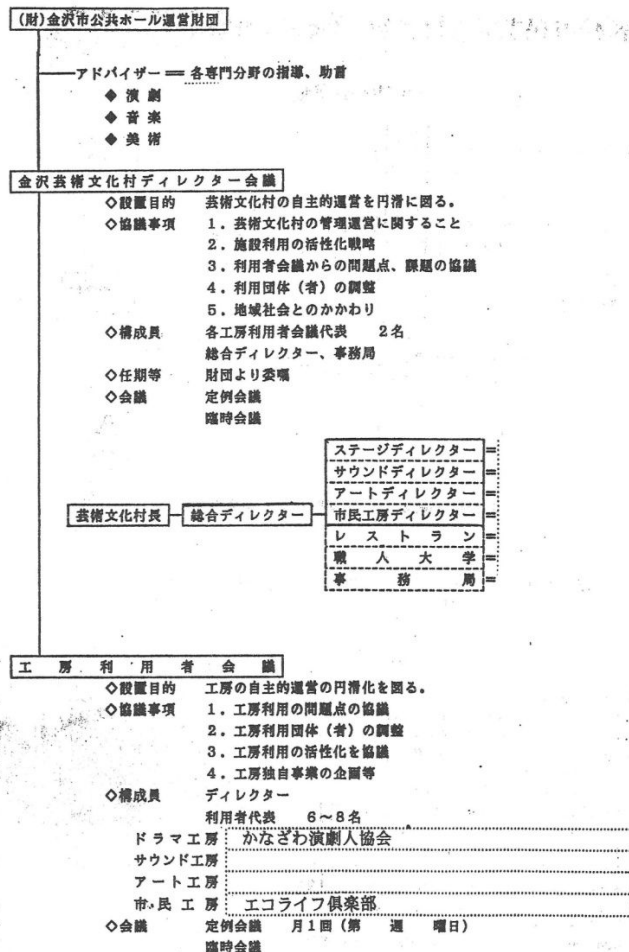
■自主事業概要(99年上半期)

●ドラマ工房…市民参加型の舞台活動

●ミュージック工房…音楽の講座やコンサートの開催

●アート工房…アートに対して気軽に参加できる空間創造を目指す。講座やワークショップなどを開催。

●エコライフ工房…工房利用団体により運営され、エコロジカルな生活の提案を目指す。講座やワークショップなどを開催。



NPO 法人武豊文化創造協会(武豊町民会館ゆめたろうプラザ)

施設概要

■平成 16 年 9 月開館

輝きホール（固定 678 席）／響きホール（平土間 272 席）／ギャラリー／和室／スタジオ／練習室／情報考房／創作工房／ミーティングルーム 3 室／情報ラウンジ／情報プラザ／喫茶

概要

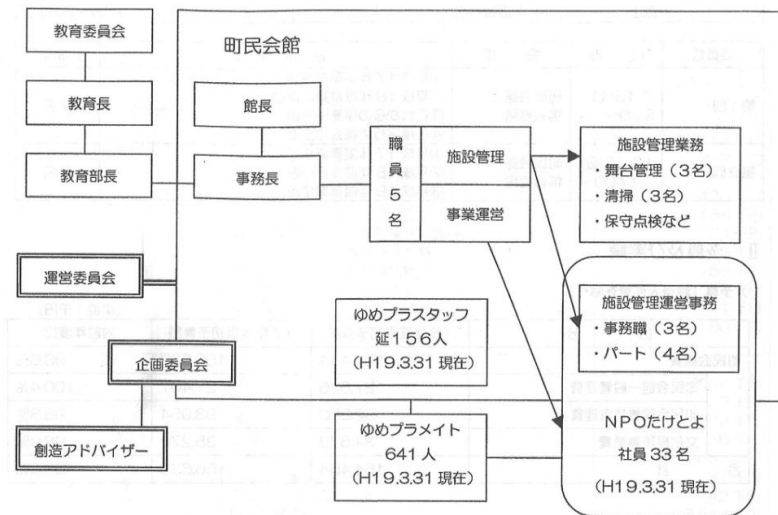
★平成 16 年 6 月設立

町民会館建設に際して町民からの意見を取り入れることを目的に、計画当初からワークショップを開いてきた。そこで出た意見をもとに町民プロデューサーを募集し、準備事業実行委員会が結成され、町民会館プレ企画として 3 年間にわたり鑑賞事業を実施した。その後会館オープンに合わせ、その実行委員会をもとに「NPO たけとよ」が立ち上がった。住民の主体性と想像力を活かすために、町民会館の管理運営業務の一部を受託し、文化創造に関わる人物を育成し、地域文化を支える基盤づくりに貢献することを目的とする。

★理事長 1 名、理事 8 名、社員 41 名（平成 24 年 1 月現在）

活動内容

- 鑑賞事業（多様なジャンルの事業を、対象年齢も考慮しながら年間 5 本以上実施）
- 芸術と科学のハーモニー事業（芸術と科学に共通する創造の喜びをより多くの人に提供することを目的に様々な事業を企画・実施）
- 他、ホームページでの情報発信、広報誌の発行、受付窓口業務など



2) 会議

① 武豊町民会館運営委員会 〔委員名簿〕

役職	氏名	所属等	役職	氏名	所属等
	小山 登	文化協会会長		高野 雅夫	名古屋大学大学院助教授
副委員長	森田 勝	社会教育審議会会長		茂登山清文	名古屋大学大学院助教授
	新美二三子	婦人会会長		岩部 一好	武豊経営者懇談会代表
委員長	清水 裕之	名古屋大学大学院教授		渡辺 泰	商工会青年部代表
	竹本 義明	名古屋芸術大学副学長			

委員会	日時	会場	協議事項	出席者数
第1回	12/10(日) 13:30~	町民会館 情報考房	①委員長の選任と副委員長の指名 ②平成17年度アニュアルレポート 2005 ③平成18年度自主事業等中間報告 ④平成19年度予算要望概要	7名
第2回	3/24(土) 18:00~	町民会館 情報考房	①平成19年度予算と事業概要 ②平成18年度事業実績概要 ③館長退任と新館長あいさつ ④会館運営に係る意見交換	5名

② 武豊町民会館企画委員会 企画委員会事務局会議

館長を委員長とし会館事業とNPO たけとよ受託事業との調整会議

福井芸術文化フォーラム

概要

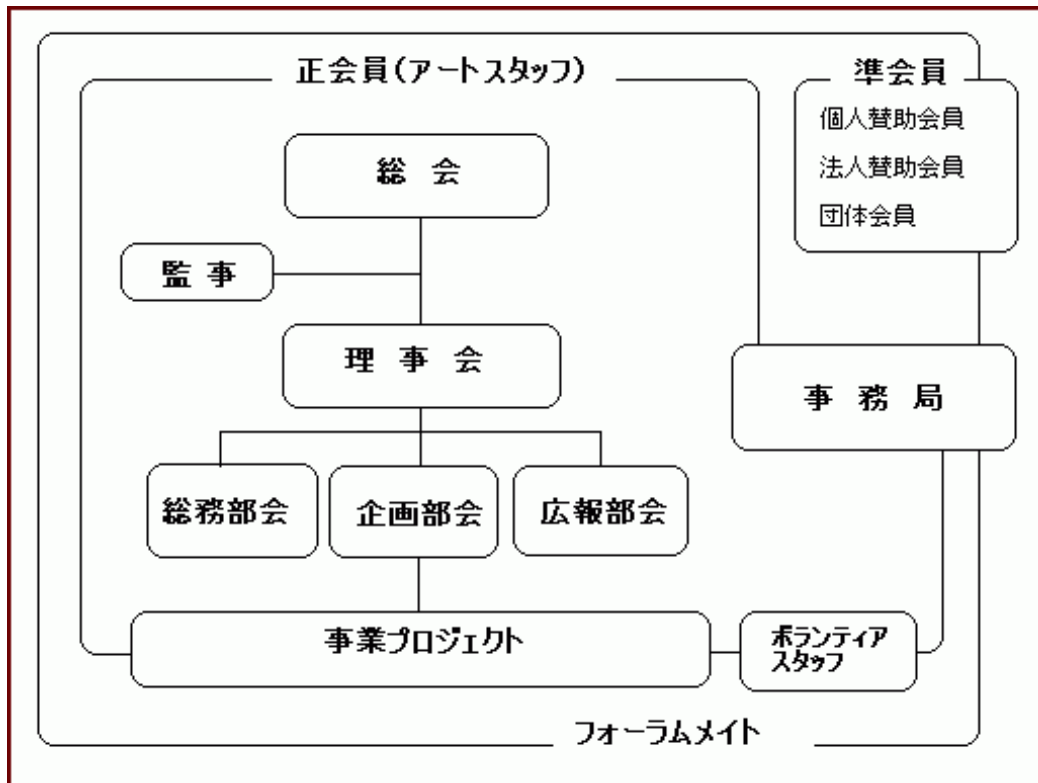
■2000年事業開始、2001年NPO法人化

文化の力で福井のまちづくりを進めるアートNPO。福井市文化会館を拠点として、舞台芸術に関するさまざまな事業の企画・運営を行っている。

★正会員 40名、個人賛助会員 19名、法人賛助会員 4団体、団体会員 14団体(平成24年1月現在)

活動内容

- ・舞台芸術鑑賞事業
- ・市民の芸術文化企画を支援する事業
- ・企画・運営・舞台技術などの担い手の育成
- ・文化交流の促進
- ・広報活動や情報の提供



日本舞台研究者連絡会

概要

全国各地の文化会館(公共ホール)の催し物などを、裏方で支える技術スタッフの市民組織。

【登録会館・団体】全国 85 館(金沢市民芸術村、能登演劇堂、黒部市国際文化センター、浄瑠璃シアター、山口県文化ホールいわくに、西土佐ふれあいホール、佐川町立桜座、西条市総合文化会館、宇和町文化会館、御荘町文化センター、土居町文化会館、香川県県民ホールなど)

活動内容

●「〇〇県うらかた大集合」

上記の登録会館が年に一度代表ホールに集まり、より良い舞台づくりのための意見交換を行う。

また、年度ごとにテーマを設定し、参加団体と地元を中心とする団体・劇団等が協力し、舞台仕込みからバラシまで含めた上演活動を行う。2 日間程度。